

建設技術審査証明書



技術名称：SSL永久アンカー工法（拡孔支圧型永久アンカー工法）

技審証第 0404 号

（開発の趣旨）

拡孔支圧型永久アンカー工法として、定着地盤に対して拡径・定着させる構造を開発するとともに、材料的にも確実な防錆対応を施したアンカーを開発する。

（開発の目標）

- (1) 拡孔支圧型として、構造的にアンカーが長期にわたり耐久性を保持できること。
- (2) アンカーを構成する材料が長期にわたり耐久性を保持できること。

一般財団法人 砂防・地すべり技術センターの建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、依頼のあったSSL永久アンカー工法（拡孔支圧型永久アンカー工法）の技術内容について、下記の通り証明する。

更新	平成 17 年 1 月 5 日
更新	平成 22 年 1 月 5 日
更新	平成 27 年 1 月 5 日
更新	令和 2 年 1 月 5 日
更新	令和 7 年 1 月 5 日

建設技術審査証明事業（砂防技術）実施機関
一般財団法人 砂防・地すべり技術センター

理 事 長

栗原 淳一

記

1. 審査証明の結果

上記開発の趣旨、開発目標に照らして審査した結果、本技術は以下のとおりであった。

(1) 構造性能（拡孔支圧方式）の耐久性

本アンカー工法においては、方式が異なる2つの拡孔支圧型を開発した。

メカニカル方式（SSL-M型）の支圧体はスライド拡径方式を採用し、拡孔した孔壁に支圧体を定着させることで、長期にわたり支圧が保持できることを引抜試験より確認した。

パッカー方式（SSL-P型）では、グラウトを圧入した支圧体を拡孔した孔壁に定着させることで、長期にわたり支圧が保持できることを引抜試験より確認した。

(2) 材料性能による耐久性

メカニカル方式（SSL-M型）の支圧体はダクタイル鋳鉄鋼を使用しており、材料の性質や腐食試験・海水中浸漬試験の報告により、長期にわたり材料の耐久性が維持されることを確認した。また、施工後は支圧体がグラウト内に収まり腐食等の劣化が生じない環境下になることを「SSL永久アンカー工法設計施工指針」などにより確認した。

パッカー方式（SSL-P型）の支圧体は防錆加工された補強鋼管内にテンドンを設置する構造とし、支圧体の端部も防錆材の入った固定金具により保護されることを確認した。

メカニカル方式、パッカー方式とも、テンドンの自由長部ではシースおよびグラウトで、頭部では、防錆キャップおよび防錆材で保護されることから、長期にわたり耐久性を保持できると認められた。

2. 審査証明の前提

- (1) 本工法の方法製作は適正な品質管理のもとに行なわれるものとする。
- (2) 本工法の計画、設計、施工および維持は「SSL永久アンカー工法（拡孔支圧型永久アンカー工法）設計施工指針（令和6年4月）」に基づき適正な管理のもとに行なわれるものとする。

3. 審査証明の範囲

審査証明の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発の目標に対して設定された材料性能と構造性能の範囲とする。

4. 審査証明の詳細（建設技術審査証明報告書）

5. 審査証明の有効期限 令和12年1月4日

6. 審査証明の依頼者

国土防災技術株式会社	所在地	東京都港区虎ノ門3丁目18番5号
サンスイ・ナビコ株式会社	所在地	東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番1号